

6 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち1)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄			
1	①	②	●	④

- ① 次の文章を読んで、あとの問一〜七に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五〜七は記述式問題です。)なお、設問の関係で、本文の段落に ① ② ③ の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

6

高等学校

国語科

問題用紙

(11枚のうち2)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

kyosai-guild

6 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち3)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(根本 彰 「情報リテラシーのための図書館 日本の教育制度と図書館の改革」による。)

問一 X に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号1の解答欄にマークしなさい。

- ① つまり ② しかし ③ そうえ ④ たとえば

問二 Y に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号2の解答欄にマークしなさい。

- ① 論証 ② 証明 ③ 批判 ④ 点検

問三 aヘーゲルはとありますが、この部分に対する述語として適切なものを、次の①～④の中から全て選び、その番号を答えなさい。解答番号3の解答欄にマークしなさい。(この解答欄では複数のマークをしてよい)。

- ① 考え ② 含む ③ 導く ④ 捉えた

問四 この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

- ① 1段落では読書感想文が抱える問題を指摘し、2段落ではなぜそのような問題が起こるか、その要因を明示し、3段落ではその要因の解説を行っている。
② 4、5段落は読書感想文を書くためには批判的思考の習得が必要であることを述べ、このように主張するに至った根拠を6、7、8段落において述べている。
③ 9、10、11段落は、批判的思考を近代思想における弁証法の考え方という別の角度から捉え直すことにより、批判的思考にある二律背反の問題を明らかにしている。
④ 12段落では6段落から11段落の内容を受けて、批判的思考における批判とはどのようなものかについて説明し、13段落と合わせて、現在の読書教育の不十分さを述べている。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問五 A こうしたこととありますが、それはどのようなことであると筆者は述べていますか。七十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 B 読書感想文は、本を読む際に批判的な態度を常に抱きながら思考実験をすることで初めて批評として成立する。とありますが、これに先立つ[4]段落で筆者は、批判的思考を身につければ、自分を基準にして作品との距離が測れるようになる。と述べています。これらの筆者の主張を踏まえて、あなたは生徒に読書感想文を書かせる前に、国語科の授業において指導を行うこととしました。生徒が作品を批判的に読み、自分を基準にして作品との距離を測れるようになるために、あなたならどのような指導の工夫を行いますか。「自分を基準にして作品との距離が測れるようになる」とはどういうことを明らかにして書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 傍線部㊦㊧について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

(11枚のうち5)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

二 次の文章を読んで、あとの問一～六に答えなさい。(問一～三はマーク式問題、問四～六は記述式問題です。)

【和歌Ⅰ】 天の河あさせしら波たどりつつ渡りはてねば明けぞし ^aにける 「古今 秋上 紀友則」

この歌の心は、天の河の深さに、あさせ白波たどりて、河の岸に立てるほどに、明けぬれば、「今はいかがはせむ」と、逢はでかへりぬる ^bなり。さることやはあるべき。ただの人すら、ひととせを、夜昼恋ひくらしして、たまたま、女逢ふべき夜なれば、いかにしても、かまへて ^A渡るらむものを。まして、七夕と申す星宿 ^cには、おはせずや。天の河、深しとて、かへり給ふべきにあらず。いかにいはむや。その河には、 ^B鵜ありて、 ^C紅葉を橋に渡しともいひ、 ^D渡し守ふねはや渡せともいひ、

^E君渡りなば楫かくしてよとも詠めり。かたがたに、渡らむことは、さまたげあらじ。渡し守の、人を渡すは、知る知らぬはあるべき。七夕の、心ざしありて、渡らむとあらむに、渡し守、 ^Fなどてかいなび申さむ。また、河も、さまでやは深からむ。かたがたに、心得られ ^dぬことなり。また、 ^Aひがごとを詠みたらむ歌を、古今に、躬恒・貫之、まさに入れむやは。たとひ、かの人々 ^X、あやまちて入れめ、 ^{注1}延喜の聖主、のぞかせ給はざらむやは。もし、古今の書きあやまりかと思ひて、 ^イあまたの本をみれば、みな、渡りはてねばとあり。おろさかしき人の、書きたる本にやあらむ、渡りはつればと書ける本もあり。おぼつかなきに、人に、尋ね申ししは、なほ、渡りはてねばとあるべきなめり。渡りはつればとあるは、あしきなめり。かやうのことは、古き歌の、ひとつの姿なり。恋ひかなしみて、立ちあ待ちつることは、ひととせなり。たまたま、待ちつけて、逢へることは、ただ、ひと夜なり。その程の、まことにすくなければ、まことには、逢ひたれど、中々にて、逢はぬかのやうにおぼゆるなり。されば、程のすくなきに、逢はぬ心ちこそすれと詠むべけれど、 ^G歌のならひにて、さもよみ、また、逢ひたれど、ひとへに、まだ逢はぬさまに詠めるなり。たとへば、月の、山のはに出でて、山のはに入る、と詠むがごとし。いつかは、月、山より出でて、山には入る。されども、うち見るが、さ見ゆるを、さこそおぼゆれとはいはで、ひとへに、山より出づるやうに詠むなり。これのみかは。花を、しら雲に似せ、紅葉を、錦に似せなどするも、ひとへに、それにこそはなすめれ。 ^{注2}ことたがふもの、人の物いふは、似たる物をも、ひとへになし、聞かぬ事をも、聞きたるやうにこそはいふめれ。それがやうに、歌も、逢ひながら、逢はずとはいふなり、とこそうけ給はりしか。

(「俊頼髓脳」による。)

(注1) 延喜の聖主 〓 醍醐天皇のこと。古今和歌集の撰集を命じた。

(注2) ことたがふもの 〓 人ではないもの。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题用紙に記入すること。)

問一 ①に、②なり、③に、④ぬとありますが、それぞれの助動詞の意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① ① 完了 ② 伝聞 ③ 完了 ④ 打消
 ② ① 断定 ② 断定 ③ 断定 ④ 完了
 ③ ① 完了 ② 断定 ③ 断定 ④ 打消
 ④ ① 断定 ② 伝聞 ③ 完了 ④ 完了

問二 Xに当てはまる最も適切な助詞を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。

- ① が ② や ③こそ ④ さへ

問三 アひがごと、イあまたのとありますが、これらの本文における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。アは解答番号7、イは解答番号8の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- アひがごと ① 失礼なこと ② 縁起の悪いこと ③ 古くさいこと ④ 正しくないこと

- イあまたの ① 手元の ② 多くの ③ 専門の ④ 昔の

問四 A 渡るらむものを、F などでかいなび申さむの口語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答题用紙に書きなさい。

問五 B 鶺鴒、C 紅葉を橋に渡し、D 渡し守ふねはや渡せ、E 君渡りなば楫かくしてよとありますが、これらは次に示す【鶺鴒にまつわる伝説】又は【七夕にまつわる和歌】を踏まえて例示したものとされています。筆者はどのようなこと例としてこれらを示したと言えますか。【鶺鴒にまつわる伝説】及び【七夕にまつわる和歌】の内容に触れて書きなさい。答えは記述式解答题用紙に書きなさい。

【鶺鴒にまつわる伝説】

七夕の夜、牽牛と織女が逢う時に、鶺鴒という鳥が翼を並べて天の河に橋を架けるとされた。

【七夕にまつわる和歌】

天の河紅葉を橋に渡せばや七夕つめの秋をしも待つ
 渡し守ふねはや渡せ一年に二たび来ます君ならなくに
 久方の天の河原の渡し守君渡りなば楫かくしてよ

問六 G 歌のならひとありますが、本文において筆者は【和歌I】について、この「歌のならひ」と結び付けて解釈を示しています。筆者は【和歌I】について、具体的にどのような解釈を示していますか。本文における「歌のならひ」の内容を明らかにして書きなさい。答えは記述式解答题用紙に書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔三〕 次の文章を読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五・六は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名・符号を一部省略しています。

貞観四年、^{注1}上謂^ニヒテ侍臣^一曰ク、「^{注2}崇^ニ飾^シ宮宇^一ヲ、遊^ニ賞^{スル}ハ^{注3}池台^一ニ、帝王之所^レニシテ欲スル、ア百姓之所^レナリ不レル欲セ。帝王ノ所^レノ欲スル者ハ放逸ナリ、百姓ノ所^レ不レル欲セ者ハ勞弊ナリ。イ孔子云ク、有下リ一言ニシテ可^ニキ以テ終身行^レフ之ヲ者^上、其^レ怒^乎。a」己ノ所^レハ不レル欲セ、勿^レカレ施^ニスコト於人^一ニ。b」勞弊之事ハ、誠^ニ不^レ可^レカラ施^ニス於百姓^一ニ。朕尊^キコト為^ニリ帝王^一ト、富有^ニツ四海^一ヲ。c」每事由^ニル於己^一ニ。誠^ニ能ク自ラ節ス。d」A若百姓不欲、必能順其情也。」

^{注5}魏徴對^{ヘテ}曰ク、「陛下大^ニ憐^ニミ万姓^一ヲ、ウ毎^ニ節^レシテ己ヲ以テ順^レフ人ニ。臣聞ク、^{注6}『以^レテ欲^ヲ從^レフ人^ニ者^ハ昌^エ、以^レテ人ヲ樂^レシマシムル己ヲ者^ハ亡^ブト。』隋煬帝ハ志在^レリ無^レキニ厭^ク、惟^ダ好^ニム奢侈^一ヲ。ま^テ所司毎^ニ有^ニル供奉營造^一、小^シク不^レレバ称^レハ意^ニ、則^チ有^ニリ峻罰嚴刑^一。上之所^レハ好^ム、下必^ズ有^レリ甚^ダシキ。競^ヒ為^ニスコト無^レク限^リ、遂^ニ至^ニレリ滅亡^一ニ。此^レ非^ニズ書籍ノ所^レニ伝^{フル}、亦^タ陛下ノ目^ニ所^ニナリ親^シク見^ル。為^ニ其ノ無道^一ナルガ、故^ニ天命^ニジテ陛下^一ニ代^ラシム之^ニ。陛下若^シ以^テ為^レサバ足^レリト、今日不^ニ畜^ニ足^一レルノミニアラ矣。若^シ以^テ為^レサバ不^レト足^ラ、更^ニ万倍過^レグトモ此^ニ、亦^タ不^レラント足^ラ。」太宗曰ク、「卿所^レ對^{フル}甚^ダ善^シ。B非^レズンバ卿^ニ朕安^クシゾ得^{レン}聞^ニクヲ此^ノ言^一ヲ。」

(「貞観政要」による。)

(注1) 上 || ここでは唐の太宗皇帝のこと。

(注2) 崇飾 || 高く立派にする。

(注3) 池台 || 池や台座。

(注4) 怒 || 思いやりの心。他人の気持ちを推し量って同情すること。

(注5) 魏徴 || 太宗皇帝に仕えた臣。

(注6) 『以欲従人者昌、以人樂己者亡。』 || 「春秋左氏伝」の「以欲従人則可。以人従欲鮮濟。(欲を以て人に従へば則ち可なり。人を以て欲に従へば濟ること鮮し。)」という一節を踏まえたものとされる。

(注7) 所司 || 役人。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア 百姓の本文中における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9
の解答欄にマークしなさい。

- ① 神 ② 君子 ③ 庶民 ④ 異民族

問二 イ 孔子云々とありますが、これに続く部分において、上(太宗皇帝)が孔子の言葉として引用しているのは、本文中のa～dのうちどこまでですか。次の①～④の中から最も適切なものを選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- ① a ② b ③ c ④ d

問三 ウ 毎節己以順人とありますが、この主語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

- ① 孔子 ② 魏徴 ③ 煬帝 ④ 太宗

問四 A 若百姓不欲、必能順其情也を、「ひやくせいのはつせざるがごときは、かならずよくそのじやうにしたがはん」と訓読する場合、「不」にどのような返り点を施せばよいですか。その返り点として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① レ ② ㇚ ③ 一 ④ 中

問五 B 非卿朕安クシテ得レシ聞ク此ノ言ノ口語訳を書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 此非書籍ノ所ニ伝フル、亦陛下ノ目所ニナリ親シク見ルとありますが、魏徴がどのように述べたのはなぜだと考えられますか。あなたの考えを書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

四 次の表は、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 現代の国語 及び 言語文化 のそれぞれの 内容の取扱いに示されていることを基にまとめたものです。表中の「現代の国語」について、「言語文化」には設定されていない「話すこと・聞くこと」の領域が設定されていたり、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の領域に関する指導に配当する授業時数が、「読むこと」の領域よりも多い時数に設定されていたりするのはなぜだと考えられますか。「現代の国語」において育成することが重視されている資質・能力や、この科目が設定された背景に触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

〔思考力、判断力、表現力等〕の領域の構成及び各領域における授業時数			
領域	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
現代の国語	○ 20～30 単位時間程度	○ 30～40 単位時間程度	○ 10～20 単位時間程度
言語文化	—	○ 5～10 単位時間程度	○ 古典 40～45 単位時間程度 近代以降の文章 20 単位時間程度

※ ○はその領域が設定されていることを示す。

※ 授業時数は、「現代の国語」、「言語文化」とも標準単位数(2単位)の場合を示している。

6 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち10)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 言語文化 内容 「思考力、判断力、表現力等」 B 読むこと (1) ウには、「文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表中の【目標】は、この指導事項に基づいて設定した「思考力、判断力、表現力等」の目標、【言語活動】は、【目標】を実現するための言語活動、【評価規準】は、この単元において設定した「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準です。また、【ポイント】は、批評文を書かせる際の指導のポイントとして設定した事項、【単元の流れ】は、この単元の流れを示したものです。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

【目標】	文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。
【言語活動】	文豪の書簡を読んで批評文を書く。
【評価規準】	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。
【ポイント】	<p>○ 「文章の構成や展開」、「表現の特色」について、その効果が適切といえるか、優れた工夫といえるかの価値判断をさせる。</p> <p>○ 評価をする際には、文章中から具体的な根拠を挙げさせ、優れている点だけではなく課題とされる点も含めて指摘させる。</p>
【単元の流れ】	<p>【一次】 単元の見通しをもち、教科書を用いて、文章の分析や批評の仕方について学ぶ。</p> <p>【二次】 【一次】での学習を生かして、文豪の書簡(教材)を読んで批評文を書く。</p> <p>【三次】 お互いが書いた批評文を交流して、読み手からの助言を踏まえて修正し、心情を伝えるためのポイントをまとめる。</p>

【問い】 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す【二次・三次】において、「文豪の書簡を読んで批評文を書き交流する」ということを学習課題として設定して、【ポイント】を踏まえた指導をしようとしています。次の【教材】は、【二次】において提示する教材で、太宰治が、芥川賞の選考委員を務める佐藤春夫に宛てて書いた書簡です。この書簡について生徒が書く批評文として、「おおむね満足できる」状況(B)を満たす批評文を具体的に想定し、あとの条件1・2に従って書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【教材】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

6 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち11)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(辻本雄一・河野龍也「佐藤春夫読本」による。)

(注) 生田長江 II 日本の評論家・翻訳家。佐藤春夫を門弟とし、影響を与えた。

条件1 批評文を書く際は、【教材】の中から根拠を挙げて書くこと。

条件2 批評文を書く際には、【教材】の「文章の構成や展開」、「表現の特色」の両方の項目を取り上げ、いずれの項目についての言及かが分かるように明示して書くこと。

⑥

高等学校 国語科 マーク式解答用紙

氏 名

氏 名

受 験 番 号

受 験 番 号					
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔記入上の注意〕

- 1 余白には何も記入しないでください。
- 2 HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
 マーク例 <良い例> ●
 <悪い例> ◊ ◈ ⊗
- 3 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 4 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。

一	解 答 番 号	解 答 欄
	1	① ② ③ ④
	2	① ② ③ ④
	3	① ② ③ ④
	4	① ② ③ ④

二	解 答 番 号	解 答 欄
	5	① ② ③ ④
	6	① ② ③ ④
	7	① ② ③ ④
	8	① ② ③ ④

三	解 答 番 号	解 答 欄
	9	① ② ③ ④
	10	① ② ③ ④
	11	① ② ③ ④
	12	① ② ③ ④

kyosai-guide



6

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号	
氏名	

問題番号		解答欄	
問一	問二	問三	問四
問五	問六	問七	問八
問九	問十	問十一	問十二
問十三	問十四	問十五	問十六
問十七	問十八	問十九	問二十
問二十一	問二十二	問二十三	問二十四
問二十五	問二十六	問二十七	問二十八
問二十九	問三十	問三十一	問三十二
問三十三	問三十四	問三十五	問三十六
問三十七	問三十八	問三十九	問四十
問四十一	問四十二	問四十三	問四十四
問四十五	問四十六	問四十七	問四十八
問四十九	問五十	問五十一	問五十二
問五十三	問五十四	問五十五	問五十六
問五十七	問五十八	問五十九	問六十
問六十一	問六十二	問六十三	問六十四
問六十五	問六十六	問六十七	問六十八
問七十	問七十一	問七十二	問七十三
問七十五	問七十六	問七十七	問七十八
問八十一	問八十二	問八十三	問八十四
問八十五	問八十六	問八十七	問八十八
問九十一	問九十二	問九十三	問九十四
問九十五	問九十六	問九十七	問九十八
問一百	問一百一	問一百二	問一百三
問一百五	問一百六	問一百七	問一百八
問一百九	問二百	問二百一	問二百二
問二百五	問二百六	問二百七	問二百八
問二百九	問三百	問三百一	問三百二
問三百五	問三百六	問三百七	問三百八
問三百九	問四百	問四百一	問四百二
問四百五	問四百六	問四百七	問四百八
問四百九	問五百	問五百一	問五百二
問五百五	問五百六	問五百七	問五百八
問五百九	問六百	問六百一	問六百二
問六百五	問六百六	問六百七	問六百八
問六百九	問七百	問七百一	問七百二
問七百五	問七百六	問七百七	問七百八
問七百九	問八百	問八百一	問八百二
問八百五	問八百六	問八百七	問八百八
問八百九	問九百	問九百一	問九百二
問九百五	問九百六	問九百七	問九百八
問九百九	問一千	問一千一	問一千二
問一千五	問一千六	問一千七	問一千八
問一千九	問二千	問二千一	問二千二
問二千五	問二千六	問二千七	問二千八
問二千九	問三千	問三千一	問三千二
問三千五	問三千六	問三千七	問三千八
問三千九	問四千	問四千一	問四千二
問四千五	問四千六	問四千七	問四千八
問四千九	問五千	問五千一	問五千二
問五千五	問五千六	問五千七	問五千八
問五千九	問六千	問六千一	問六千二
問六千五	問六千六	問六千七	問六千八
問六千九	問七千	問七千一	問七千二
問七千五	問七千六	問七千七	問七千八
問七千九	問八千	問八千一	問八千二
問八千五	問八千六	問八千七	問八千八
問八千九	問九千	問九千一	問九千二
問九千五	問九千六	問九千七	問九千八
問九千九	問一万	問一万一	問一万二

6

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号				解答欄	
問一～三は、マーク式解答用紙に記入すること。					
問五		問四			
		F	A		
問六					

問題番号			解答欄		
問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。					
問五		問六			

6

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	四
解答欄	

kyosai-guild

6

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

五

kyosai-guild

高等学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	2		3
問二	4		3
問三	1、4	全部合っているものだけを正答とする。	4
問四	4		6
問五	読み手の読書に関するこれまでの経験や現在の状況等によってテキストから読み取られるものは異なり、その意味で正しい読み方はないということ。(67字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
問六	筆者の述べる「自分を基準にして作品との距離が測れるようになる」とは、生徒が作品に表れているものの見方や考え方をそのまま受け入れるのではなく、自分の知識や経験と照らし合わせて、自分なりの理解を基に作品を対象化し、吟味したり検討したりしながら読み、自分のものの見方や考え方に対する作品に表れているものの見方や考え方の位置付けが分かるようになることを表していると考え。 そのことを踏まえ、国語科の指導においては、生徒が批判的な態度を常に抱きながら本を読み、読書感想文を批評として成立させることができるように、登場人物の行動や物語の展開の意味を考えさせたり、登場人物と自分との考え方の違いを確認させたりする。また、作品に表れているものの見方や考え方と自分の考えを比較させ、共通点や相違点を確認させたり、作品中で述べられている主張と根拠との関係は適切か、根拠は確かなものであるのかといった、内容の信頼性や妥当性を吟味しながら読ませる。このような指導を繰り返し行うことで、作品を対象化して、吟味したり検討したりしながら作品を批判的に読み、自分の中での作品の位置付けが分かるようにしていくことが考えられる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	20
問七	㉞ し	語として採点する。	各 2 × 5
	㉟ 一致		
	㊱ かくとく		
	㊲ かいぎ		
	㊳ 革命		

56

高等学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
二	問一 3		3	
	問二 3		3	
	問三	ア 4		各 3 × 2
		イ 2		
	問四	A 渡るであろうになあ	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 6 × 2
		F どうして断り申し上げるだろうか、いや断り申し上げないだろう		
問五	鵲や紅葉の橋を渡ったり、渡し守のいる舟で渡ったりするなど、牽牛が天の河を渡る方法があるということ。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
問六	たとえ事実とは異なった内容になったとしても、思ったり感じたりしたとおりに詠むのが「歌のならひ」である。【和歌Ⅰ】もそうした「歌のならひ」に沿った和歌の一首で、実際には天の河を渡って織女に逢うことができたが、あまりにも短い逢瀬で逢わなかったかのように感じられたため、天の河を渡り切れずに帰ったと詠まれた歌であるという解釈を示している。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	1 4	
三	問一 3		3	
	問二 2		3	
	問三 4		4	
	問四 2		4	
	問五	そなたでなければ、私はどうしてこのような言葉を聞くことができたであろうか、いやできなかったであろう。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8
	問六	書物に述べられていたことを、太宗が目当たりにした煬帝の滅亡と結び付けることにより、太宗の語った君主の姿が、正当なものであることを太宗に実感をもって理解してもらおうとしたため。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	1 4
四	<p>「現代の国語」は、実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成することを主眼に置いた科目として設定されており、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の指導の充実が図られているためと考えられる。</p> <p>「現代の国語」が上記のように設定された背景として、社会が急速に変化していく状況において、論理的な思考力、相互に交流する力といった実社会で求められる言語能力の育成が国語科教育に一層求められていることや、話合いや論述などの「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域の学習が十分に行われていないという高等学校の国語科の課題の解決が求められていることが挙げられる。</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	1 2	

高等学校国語科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
五	<p>この書簡は、太宰治が、芥川賞受賞を熱望し、そのことを佐藤春夫に訴えることを目的として書いたものである。</p> <p>「文章の構成や展開」については、芥川賞が常に心に掛かる不安の中、執筆した作品の紹介、芥川賞当選の際に発表したい作品とその作品に対する自信、芥川賞受賞の懇願、追伸という構成になっている。このような構成にすることで、不安の中、努力を続けてきたことや今後も作品を書き続けるという意欲を強調し、何としても芥川賞を受賞したいという思いや、この手紙を書かずにはいられなかった心情に対する理解を佐藤に求め、受賞できなかった場合の太宰の落胆ぶりを想像させるという効果がある。また、追伸として、太宰は、佐藤の師である生田長江の死を悼み、佐藤の胸中を思いやっている。しかし、この内容を書くことによって、機嫌を取ろうとしているような印象を佐藤に与えるおそれもあると思われる。</p> <p>「表現の特色」については、自分の心情を伝えるために、短い文や読点で区切った言葉を重ねて表現していることが特色として挙げられる。具体的には、芥川賞受賞に対する必死の思いを、「私を助けて下さい。佐藤さん、私を忘れないで下さい。私を見殺しにしないで下さい。いまは、いのちをおまかせ申しあげます。」と短い文を重ねて表現している。また、芥川賞が常に心にかかる不安を「不自然で、ぎこちなく、あがけばあがくほど、いよいよ強くつながって行くやうなややこしい状態」と表現したり、この手紙を書くに至った心情を「あきらめず、なまけず、俗なことにもまめまめしく、甲斐甲斐しく真面目につとめるのは、決して恥づべきことでなく、むしろ美しいことでさへあると信じ」と表現したりしている。このように短い文や区切った語句を重ねて表現することで、太宰の必死さや切迫した心情を生々しく伝える効果がある。一方で、これらの表現からは、佐藤にある種の脅しを含んでいるように感じさせたり、このような手紙を書くことを正当化しようとしているように受け取られたりする可能性もあると思われる。</p> <p>このような文章の構成や展開、特色ある表現によって、この文章はよく言えば、芥川賞を熱望する太宰の必死さを伝える文章となっており、またややもすれば自己中心的な印象を与える文章になっているとも言える。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	50